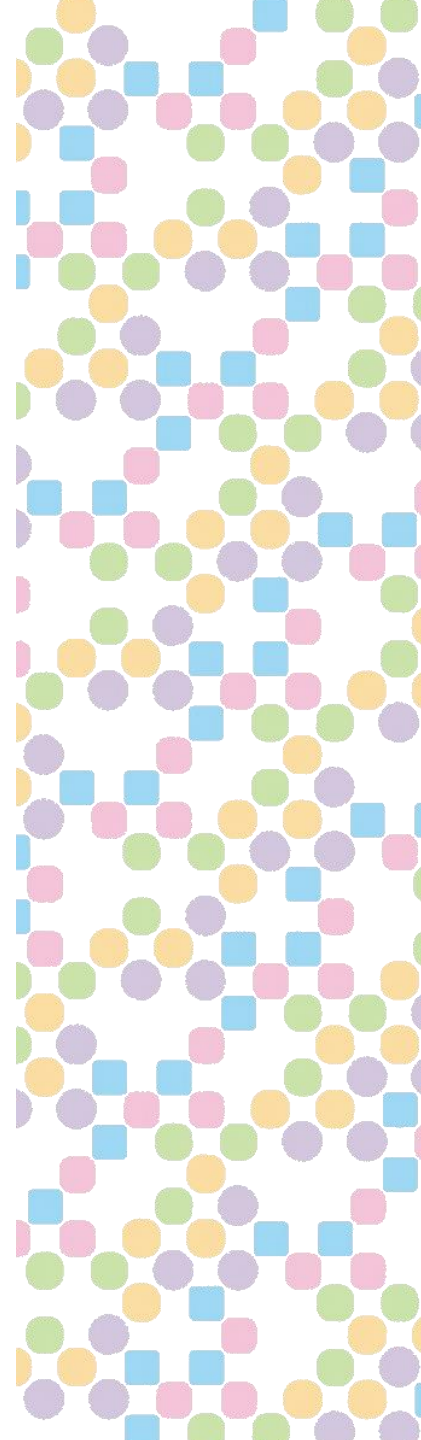




令和7年度

町長と話そう

愛南ほっとミーティング



第3次愛南町総合計画 基本計画

政策1 支えあい健やかに 暮らせるまちづくり

- (1) 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実
- (2) 高齢者福祉の充実
- (3) 障がい者(児)福祉の充実
- (4) 健康・医療体制の充実
- (5) 地域福祉の推進

政策4 自立と協働による 安全安心なまちづくり

- (1) 協働によるまちづくりの推進
- (2) 防災・減災対策の推進
- (3) 消防・救急体制の充実
- (4) 暮らしの安全対策の推進
- (5) 効果的・効率的な行財政運営の推進

政策2 豊かな自然環境と共生し 快適に暮らせるまちづくり

- (1) 循環型社会の形成
- (2) 道路環境の充実
- (3) 公共交通の確保
- (4) 安定的な水道水の供給

政策5 豊かな心と文化を 育むためのひとづくり

- (1) 学校教育の充実
- (2) 生涯学習の充実
- (3) スポーツの充実
- (4) 人権尊重・男女共同参画の実現

政策3 活力ある産業を育てるまちづくり

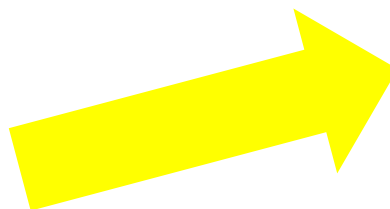
- (1) 水産業の振興
- (2) 農林業の振興
- (3) 商工業の振興
- (4) 観光・物産の振興
- (5) 雇用・人材確保の推進



放課後児童クラブ事業

令和7年度より6年生までに
利用対象を拡充！

小学校1～3年生



小学校1～6年生



政策1 支えあい健やかに暮らせるまちづくり
(1) 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

子どもの居場所事業(あいなんくる)



1. 基本的な生活支援
2. 学習習慣支援
3. 体験活動
4. 子育て支援





高齢者タクシー利用助成事業

○ 事業の目的:

高齢者の交通手段の確保を図り、
在宅福祉の増進に寄与

○ 利用対象: 70歳以上の高齢者

※75歳未満の方については、
バス停までの距離要件あり

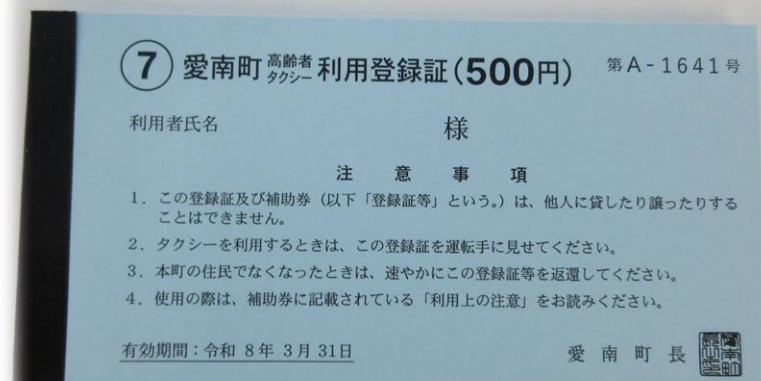
○ タクシー券の種類:

原則500円券 年間最大50枚

○ 年度別実績

※令和7年度については、8月末時点(5か月分)の実績

年度	申請者数	利用枚数	利用金額
R4	521人	17,450枚	9,167,100円
R5	1,281人	40,944枚	20,784,700円
R6	1,429人	46,969枚	23,785,200円
R7	1,628人	27,366枚	13,827,800円



予防接種事業(愛南町独自の取組)

高齢者定期予防接種事業 (インフルエンザ接種)

対象:65歳以上の方
60~64歳の日常生活に支障が
ある程度の障がいがある方

任意帯状疱疹予防接種事業

R5年度より開始
対象:50歳以上の方
(定期接種の対象を除く)

任意インフルエンザ予防接種事業

○子どもインフルエンザ
予防接種費用無償化事業

R2年度より開始

対象:6か月から18歳以下の方
(町外に住所があり、町内の保育所や
学校に通っている方も対象)

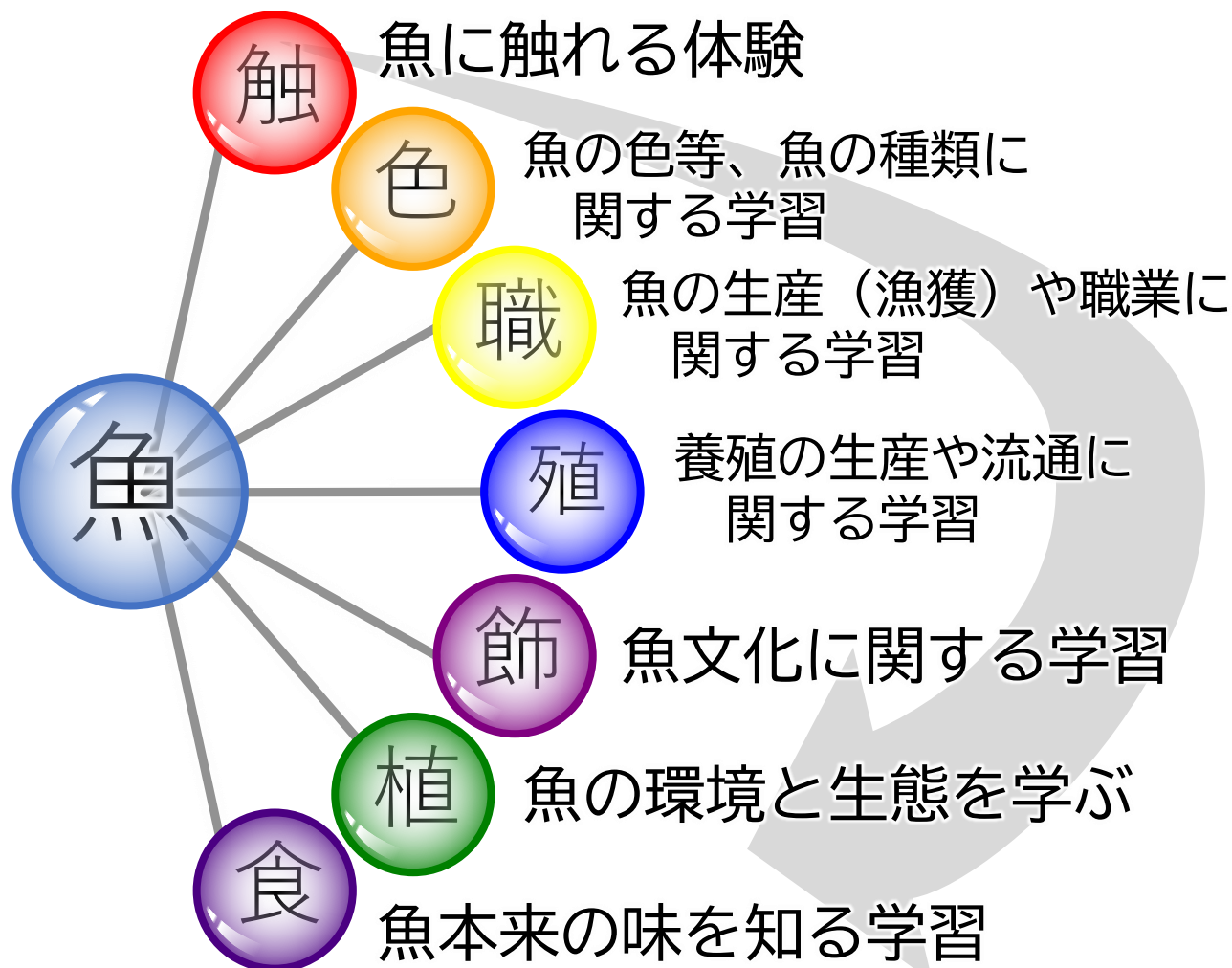
○インフルエンザ予防接種補助事業

H23年度より開始

対象:19~64歳
(高齢者定期と子ども無償化の
対象とならない方)



ぎょしょく普及事業





愛南町ドローン防除等普及支援事業費補助事業

ドローン等を活用した農薬散布を支援



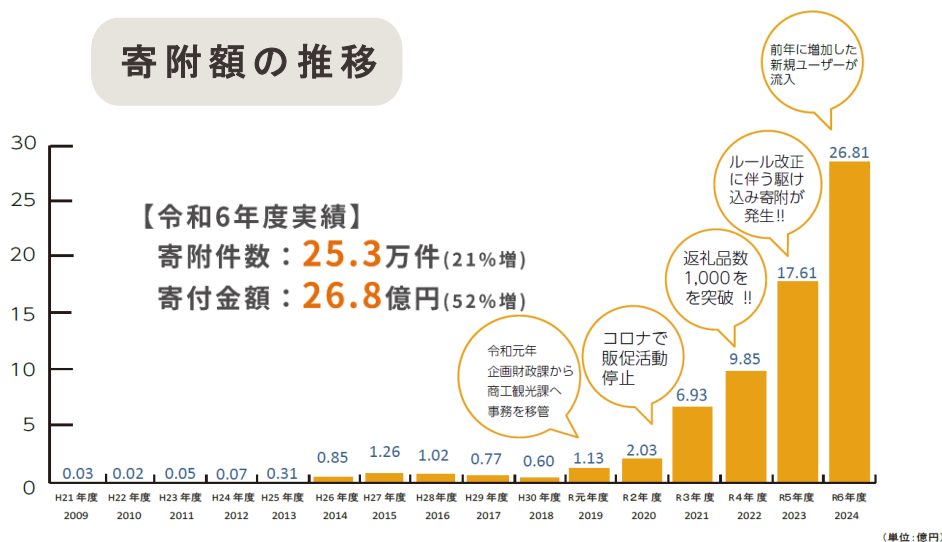
- ・作業の省力化と労働負担の軽減
- ・高齢農業者や小規模農家の
営農継続支援
- ・農業分野における
スマート農業技術の普及拡大



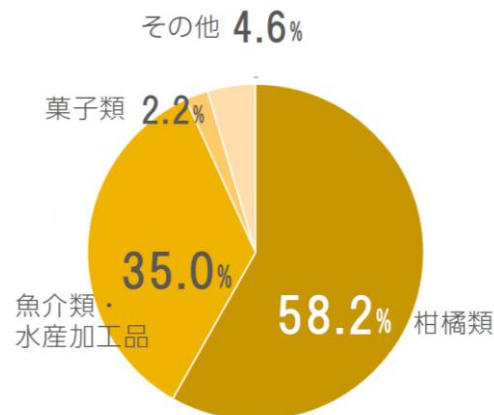


ふるさと寄附金事業 ～愛南町の実績～

寄附額の推移



人気の返礼品



○全国の寄附額

全 国	1兆2,728億円	5,879万件
愛媛県	173億円	109万件

○県内ランキング

1 位	八幡浜市	31.0億円(73位)	21.9万件(48位)
2 位	今治市	29.4億円(78位)	11.8万件(101位)
3 位	愛南町	26.8億円(85位)	25.3万件(38位)

※()内は全国順位





防災士養成事業

● 事業の概要

南海トラフ地震・津波災害が想定される愛南町において、地域防災力の向上は非常に重要な課題
その課題の解決策の一つとして、防災士の養成を推進

● 防災士とは

自助・共助・協働 を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得した日本防災士機構による認証者

防災士連絡協議会設立会議



緑地域自主防災会避難所設営訓練





防災士養成事業

● 事業の実績

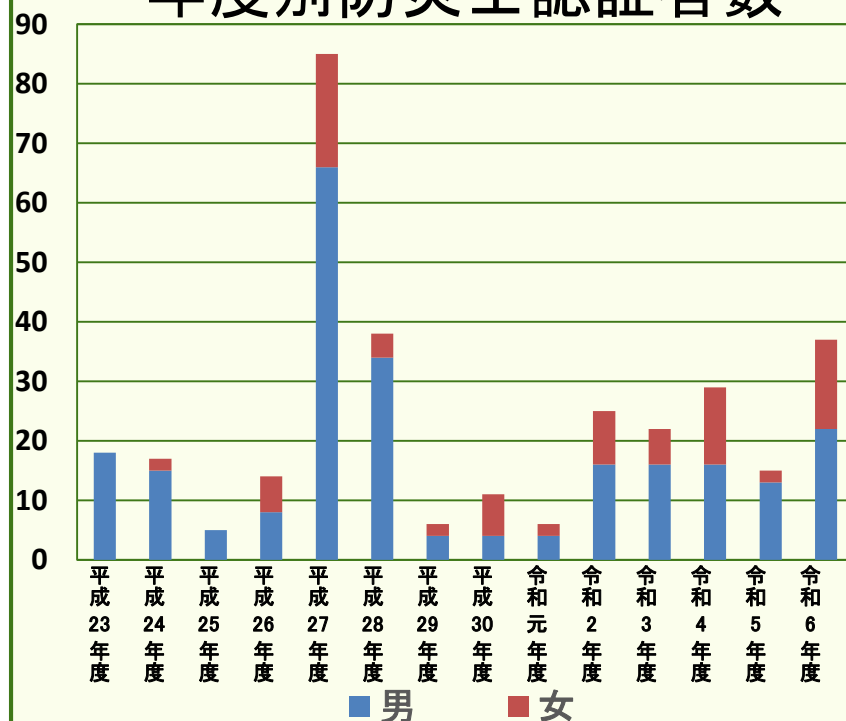
平成15年度から始まった防災士養成において、本町では、平成23年度に初めて18人の認証者が誕生し、令和6年度末現在、男241人、女87人、合計328人の防災士。

今年度は、本町で養成講座を開催し、100人の受講を予定。

● 今後の計画

- ・ 防災士の組織を立ち上げ、横連携を強化。
- ・ 防災士の活躍により、地域防災力(自主防災会)の向上を図る。

年度別防災士認証者数





南宇和高等学校魅力化推進事業

町内唯一の高校である南宇和高校を存続させるため、学校の魅力化を進め、町内外から子どもたちの進学先として選択される「魅力あふれる学校」づくりを、町が積極的に支援しています。

- ★ 南宇和高校教育振興協議会への補助
- ★ 南光叶夢センターの開設
- ★ 高校給食の実施
- ★ 生徒の全国募集の開始
(令和9年度4月入学予定)



あけぼのグラウンド管理運営(スポーツ合宿等)

□あけぼのグラウンド利用実績

H27(2016) 第52回全国社会人選手権会場

H28(2017) 2017愛媛国体
サッカー競技(女子)会場

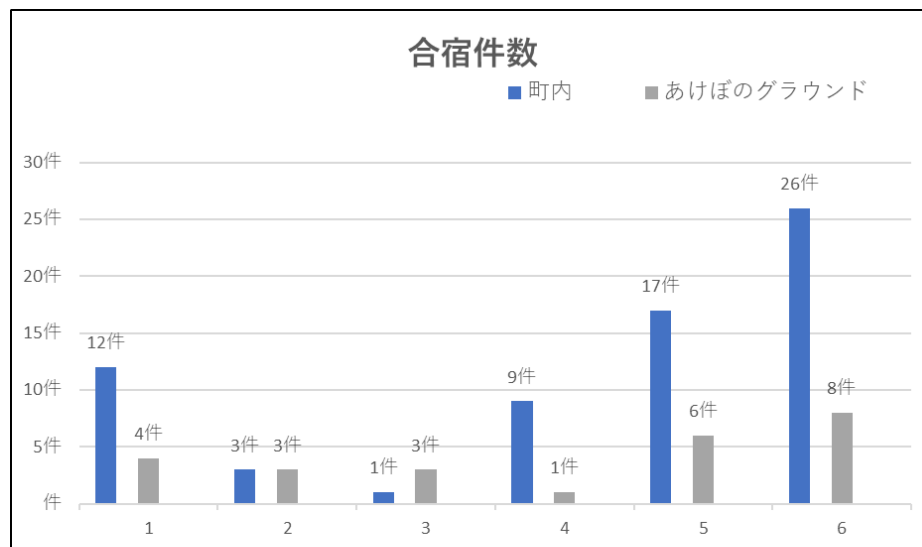
R7(2025) 日本スポーツマスターズ2025
愛媛大会サッカー競技会場



■スポーツ合宿等実績

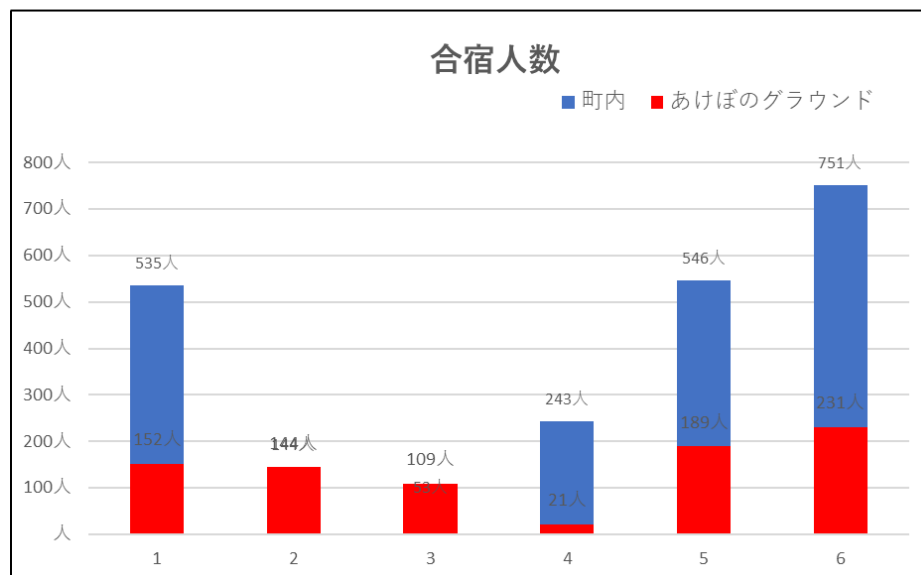
	利用人数	町内合宿件数	あけぼのグラウンド 合宿件数	合宿総人数	あけぼのグラウンド 合宿人数	備考
R1	14,935人	12件	4件	535人	152人	
R2	7,225人	3件	3件	144人	144人	コロナ禍
R3	8,803人	1件	3件	53人	109人	コロナ禍
R4	10,877人	9件	1件	243人	21人	コロナ禍
R5	11,012人	17件	6件	546人	189人	照明改修
R6	10,365人	26件	8件	751人	231人	人工芝改修
合計	63,217人	68件	25件	2,272人	846人	

スポーツ合宿等実績(R1~6)



■主な実施団体 (あけぼのグラウンド利用)

- ・八幡浜工業高校サッカー部 (愛媛県)
- ・おかやま山陽高校サッカー部 (岡山県)
- ・宮崎工業高校サッカー部 (岡山県)
- ・追手門学院大学アメリカンフットボール部 (大阪府)
- ・松山大学サッカー部 (愛媛県)





愛南町戻りがつお奨励金(R7新規事業)

○愛南町の重要課題である人口減少対策の一つとして、Uターンを促し減少スピードを緩やかにする

○愛南町へ帰ってくることを意識付けるため、大学等卒業後10年以内にUターンした場合、連携金融機関から借りた教育ローンや日本学生支援機構から借りた奨学金の全部又は一部について奨励金を交付
(大学4年制の場合 最大2,841千円)



